

適用地域 屋根勾配と最大流れ長さの基準

屋根材種類	地域	勾配 形状	勾配と最大流れ長さおよび下葺材の基準						
			3/10	3.5/10	4/10	4.5/10	5/10	5.5/10	6/10以上
ROOGA [雅]	一般地域	切妻	10m	12m	14m	16m	18m	20m	20m
		寄棟							
		下葺材							
	積雪地域	切妻	施工不適		14m	16m	18m	20m	20m
寄棟		施工不適		14m	16m	18m	20m	20m	
		下葺材	—		●軒先2段:ハイKCシート敷 ●軒先部以外:全面タフガード またはバーディーガードまたはイーグルガード*2		●全面タフガードまたはバーディーガードまたはイーグルガード1層敷 ●軒先部:防水テープ貼り		
ROOGA [鉄平]	一般地域	切妻	6m*1	7m*1	8.5m	10m	12m	14m	16m
		寄棟							
		下葺材							
	積雪地域	切妻	施工不適		8.5m	10m	12m	14m	16m
寄棟		施工不適		8.5m	10m	12m	14m	16m	
		下葺材	—		●軒先2段:ハイKCシート敷 ●軒先部以外:全面タフガード またはバーディーガードまたはイーグルガード*2		●全面タフガードまたはバーディーガードまたはイーグルガード1層敷 ●軒先部:防水テープ貼り		

*切妻:10/10、寄棟:8/10まで対応可能です。(役物により対応勾配が異なります。)

*1 [鉄平]の3/10~4/10未満での隅棟部は、隅棟仕様が標準です。(最大働き長さを290mm以下にすることで、差棟仕様でも施工できます)

*2 「すがもれ」の可能性がない場合は、ハイKCシート部分をバーディーガード・1層敷(5寸以上と同じ仕様)に変更することもできます。

詳しくは「ROOGA設計施工マニュアル」をご参照ください。

屋根下地基準

●木造下地基準

下地工法	下地項目	下地基準	適用工法				
			標準工法			クリップ工法	
			一般地域	積雪地域	積雪地域		
			積木なし工法	積木工法	積木工法	積木工法	
軸組工法	合板下地	垂木	間隔	500mm以下			
		野地板	種類	●普通合板I類、厚さ12mm以上 ●コンクリート型枠用合板、厚さ12mm以上 (JAS適合品) ●構造用合板、厚さ12mm以上。ただし、気乾状態で比重が0.5以上のものに限る。全層杉材のもののはのぞく。 ●OSB (JAS構造用パネル3級)*1、厚さ12mm以上			
	小幅板下地	垂木	間隔	303mm以下			
		野地板	種類	幅90mm×厚さ12mm以上 すき間なく突き付けて施工する			
枠組壁工法 (2×4工法)	垂木	間隔	500mm以下				
	野地板	種類	●構造用合板、厚さ9mm以上 (5プライ) (JAS適合品) ただし、気乾状態で比重が0.5以上のものに限る。合板継ぎ手に受け材を入れてください。全層杉材のもののはのぞく。 ●OSB (JAS構造用パネル3級)*1、厚さ12mm以上				

*1 OSBの場合、屋根材は全て釘3本留め *2 6寸以下に限る

○:対応可 ×:対応不可 —:設定なし

●瓦積木の寸法 ROOGA雅:厚さ正15mm×幅30mm以上

ROOGA鉄平:厚さ正15mm×幅30~40mm(幅40mmを超えると裏面の突起に当たり施工できません)

●木造下地以外の下地基準

下地工法	下地項目	下地基準	適用工法				
			標準工法			クリップ工法	
			一般地域	積雪地域	積雪地域		
			積木なし工法	積木工法	積木工法	積木工法	
不燃下地	屋根30分耐火構造 2号口準耐火構造	垂木	寸法	C形鋼:C-100×50×20×2.3以上			
			間隔	606mm以下			
		野地板	種類	硬質木片セメント板 厚さ18mm以上 (センチュリー耐火野地板:ニチハ株)			
		瓦積木 (寸法)	屋根30分耐火構造 2号口準耐火構造	ROOGA雅:厚さ正21mm×幅35mm以上 ROOGA鉄平:厚さ正21mm×幅35~40mm*			
	上記以外の場合	垂木	間隔	木造軸組工法の基準に準じる。 ただし、垂木間隔が500mmを超える場合は、垂木間隔を606mm以下とし、野地板合板の厚さを15mm以上とする。			
		野地板	種類	ROOGA雅:厚さ正15mm×幅30mm以上 ROOGA鉄平:厚さ正15mm×幅30~40mm*			
コンクリート系下地	パールライト モルタル下地	寸法	厚さ40mm以上あること。 レベル定規(目地棒)を1.5~2.0m程度の間隔で入れること。				
	瓦積木	寸法	ROOGA雅:厚さ正15mm×幅30mm以上 ROOGA鉄平:厚さ正15mm×幅30~40mm*				
	コンクリート下地及びALC下地への直接留付けはできません。						

*幅40mmを超えると裏面の突起に当たり施工できません。

○:対応可 ×:対応不可

詳しくは「ROOGA設計施工マニュアル」をご参照ください。

耐風基準

- 合板下地
- 下地が合板の場合に適用します。
- 強風場所では「標準工法」→「棟端部補強」、「棟端部補強」→「周辺部補強」に変わります。

建物高さ	基準風速V ₀ (m/s)									沖縄	
	30	32	34	36	38	40	42	44	46		
8m未満											全面補強※2
8m以上10m以下			標準工法			※1	棟端部補強				施工不可

※1 4/10勾配未満は棟端部補強が必要です。 ※2 4/10勾配未満は施工不可です。

- 合板下地以外
- 下地が耐火野地板・パライトモルタル・小幅板の場合に適用します。

建物高さ	基準風速V ₀ (m/s)									沖縄	
	30	32	34	36	38	40	42	44	46		
8m未満											※1
8m以上10m以下			クリップ工法(棧木使用)								施工不可

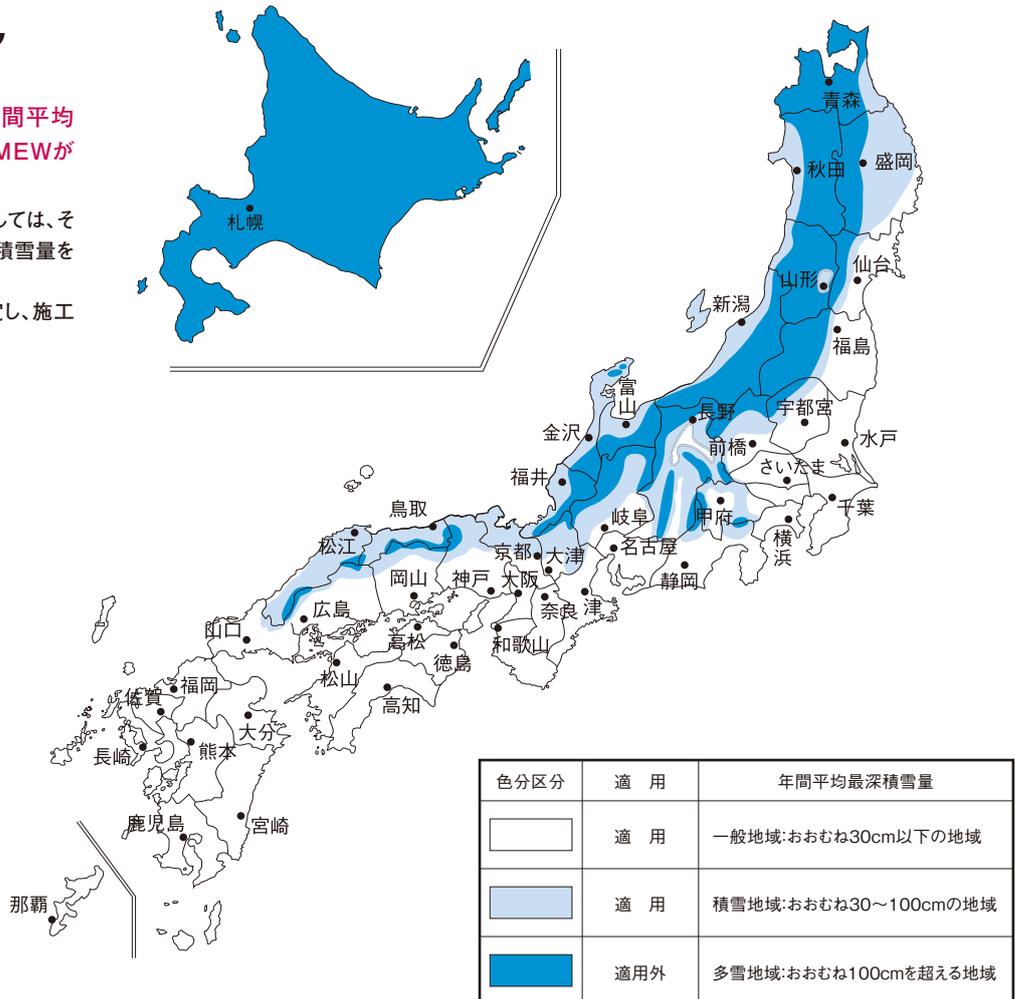
※1 4/10勾配未満は施工不可です。

●建物高さが10mを超え、25m以下の物件にもご使用して頂けます。設計、耐風性能値及び計算方法につきましては、弊社までお問い合わせください。

●詳しくは「ROOGA設計施工マニュアル」をご参照ください。

ROOGA施工エリア

- この全国積雪分布図は、年間平均最深積雪量を参考にしてKMEWGが独自に作成したものです。
- 建物の設計(積雪荷重等)に際しては、その地域、および建設する場所の積雪量を確認してください。
- 積雪量に応じた地域基準を選定し、施工基準をお決めください。



●施工エリアは、2010年8月現在のものです。
詳しくは、ROOGAショップまたは弊社営業所までお問合せください。